

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 取引先との信頼関係の醸成

取引先との信頼関係の醸成

基本的な考え方

グローバル化が進み、経済活動が連鎖的に行われている今日においては、ダイフクが提供する製品・サービスだけでなく、サプライチェーンを通じて社会的責任を果たす必要があります。ダイフクはグループ行動規範に取引方針を定めており、すべての役員および従業員の遵守を規定しています。その上で、2017 年度に見直した「調達基本方針」を取引先と共有し、「CSR 調達基準」に沿って責任あるサプライチェーンを推進しています。

本テーマのマテリアリティと関連する SDGs 目標

マテリアリティ

- ・ サプライチェーンでの CSR 調達の推進

CSR アクションプラン KPI・2020 年目標

- ・ サプライヤー訪問率：(累計) 80%



ダイフクが目指す SDGs 目標

調達基本方針

経営方針、企業行動規範にのっとり、次の調達基本方針にて、取引先と取引を致します。

1. 公正、公平

- (1) 国内外に広く門戸を開き、自由な競争の機会を提供します。
- (2) 品質、技術開発力、経済性、安定供給に加え、経営状況などを総合的に評価し取引先選定を行います。
- (3) 取引先の皆さまと信頼関係を構築し、公正、公平且つ透明な取引に努めます。

2. 安全・品質・コスト・納期

- (1) 安全で健康的な職場環境づくりを追求します。
- (2) Q (品質)・C (コスト)・D (納期) の維持、改善及び向上により、調達の最適化を追求します。

3. CSR 調達

- (1) コンプライアンス、人権、労働、環境保全、地域貢献などの社会的責任を果たす CSR 活動に取り組みます。

「CSR 調達基準」を策定し、取引先の皆さまと CSR 活動を推進していきます。

※ 「CSR 調達」とは・・・企業が製品、資材、原料を調達するにあたり、サプライヤーと協働して従来の安全、品質、性能、価格、納入期間等にコンプライアンス、人権、労働、環境保全、地域貢献等の CSR 要素を加えて、サプライチェーン全体で推進する活動。

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 取引先との信頼関係の醸成

CSR 調達基準

1. 安全

- (1) 労働災害等の防止のため、適切な安全対策を講じて従業員等の安全確保に努めます。
- (2) 労働災害及び労働疾病の状況を把握し、再発防止に向けた適切な対策を講じます。
- (3) 職務上の安全、健康の確保を最優先し、「安全で健康的な職場環境づくり」に取り組みます。

2. 品質・コスト・納期

- (1) 品質・コスト・納期の維持、改善及び向上に努めます。
- (2) 適切な品質・納期を確保し、最適なコストを追求していきます。
- (3) 安定供給できる生産体制及び災害等の危機管理体制の構築に努めます。

3. コンプライアンス

- (1) 国内外・地域に関連する法令、社会規範及び企業倫理に基づき、誠実に業務を遂行します。
- (2) 機密情報や個人情報の管理は適切に行ない、情報セキュリティを徹底します。
- (3) 不適切な利益の供与や受領、業務上の見返りを求めるなど、利益や便宜の供与は行ないません。
- (4) 反社会的勢力との取引については、毅然とした態度で臨み、取引等の関わりを持たず、公正な業務を遂行します。

4. 人権、労働

- (1) 国、地域の文化、慣習を理解し、全ての人の人権が尊重される企業づくりに取り組みます。
- (2) 児童労働、劣悪環境、強制・長時間労働を排除し、「働きやすく、快適な職場づくり」に取り組みます。
- (3) 国内外の事業活動を支えるため、必要な知識、技術、技能をもつ人材の育成に努めます。

5. 環境保全と地域貢献

- (1) 環境に配慮した調達を推進します。※国内では <グリーン調達ガイドライン> に基づく（2005年11月策定）
- (2) 省資源や廃棄物削減等の省エネ活動に取り組みます。
- (3) 事業活動を行なう地域・社会との共生を図ります。
- (4) 社会支援活動への積極的な参画に努めます。

推進体制

管理統轄や各事業部門の調達に携わる従業員を中心に取り組みを推進しています。CSR 関連項目について取引先の自己評価をもとに訪問を実施するなど、当社の調達基本方針の共有を図っています。

また、横断的に組織した「生産系コンプライアンス委員会」では、調達従事者向けに法令知識の講座を実施しています。取引先との情報交換や方針を共有するため、説明会等も開催しています。

サプライチェーンの取り組み

> **KPI** (Key Performance Indicators) は CSR アクションプランの達成度を判断するための評価指標です。 [PDF](#) (524 KB)

経営・安全方針及び生産動向説明会



メーカー・商社から加工・工事・サービス・設計・ソフト開発までの取引先のトップを招待し、「経営・生産動向説明会」という名称で毎年開催してきましたが、2021年度からは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、安全衛生トップセミナーと合同で、名称を「経営・安全方針及び生産動向説明会」に変更。アナログからライブ配信に開催方式を転換のうえ、263社の取引先を招待しました。

目次	ダイフクの 価値創造	CSR マネジメント	CSR アクション	ガバナンス	ESG データ集	社外からの 評価	CSR に関する 情報開示に ついて
----	---------------	---------------	--------------	-------	----------	-------------	--------------------------

目次 > CSR アクション > 取引先との信頼関係の醸成

優良サプライヤー認定制度「SQD 表彰」

当社は 2003 年度に「サプライヤー評価システム」を構築し、毎年、物品系（製作外注、物品購入）、設計系、工事請負系などの優良サプライヤーを表彰する「S.Q.D. 賞」（Supplier Quality Development Award）を設けています。2021 年度は、対象 193 社から 6 社を「経営・安全方針及び生産動向説明会」において表彰しました。

サプライヤー訪問

KPI

2020 年度は訪問先 35 件（訪問率目標 80%）を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、期半ばで訪問形式からアンケート形式に転換しました。結果、合計 35 件で目標を達成することができました。（内訳：訪問先 16 件、アンケート形式 19 件）



訪問の様子

取引先への CSR アンケート（自己評価チェックシート）をはじめ、訪問によるモニタリングを実施するなど、CSR の必要性を理解いただき、サプライチェーン全体で CSR 調達に向けた取り組みを推進しています。

サプライヤー操業確認システム



BCP 強化の一環として、「サプライヤー操業確認システム」を導入しています。災害時に取引先の被災状況や担当者の安否確認をメールで行うものです。情報共有を迅速かつ的確に行い、サプライチェーン全体の早期復旧や業務の正常化を図るものとして活用しています。

グリーン調達



環境に配慮した製品をつくることは、グローバルに事業展開している当社の使命と考えています。「入れず・使わず・出さず」を基本理念として、2005 年 11 月より「グリーン調達ガイドライン」を策定し、省資源・省エネルギー・再利用可能な材料・商品を優先的に購入しています。

> グリーン調達ガイドライン PDF (590 KB)